



2023年7月
七尾市立図書館
友の会発行
発行責任者
芹田玲子

子どもたちに「てんこ盛り」

図書館まつり7月2日(日)に開催

第四四回「図書館まつり」は七月二日、一〇時〜一四時の日程で催されます。出し物は左のプログラムにあるように人形劇や伝承あそびに紙ひこうき、クイズなど子どもたちには「てんこ盛り」となっています。また石崎奉燈祭の展示と解説は、初めて聞く話もありますのでぜひ聴講を。

本のバザールも数百冊をそろえてお待ちしております。当日はミナ・クル祭が出演団体の都合で中止となり、図書館単独の行事となっています。

第五十四回・定期総会終わる

七尾市立図書館友の会第五十四回定期総会が五月二十日フォーラム大ホールで

澤田祐一さんが記念講演

「トルコ滞在記」



総会に続き、イスタンブール日本人学校で派遣教員を務められた澤田祐一さんが講演しました。トルコで暮らしてみても、海外でも普通に生活できるというのは、①現地の通貨を使って買い物ができる。②現地の食材を使った食べ物を食べる。③地理がある程度分かっているところへ移動できる。その三つだとか。それをクリアした澤田さん「いま振り返ると夢のような三年間だった」と締めくくりました。

行事は図書館まつり、ふるさと散歩(バス旅行も視野に入れてコースを考える)、本を読む仲間の集い(開催日は例年の三月にもどし、年度の締めくくり行事とする)などです。そのほか友の会の集い(第2火曜)ちょ図ボラ(第4火曜)もあります。会員数の目標は昨年度と同じ二百名ですが、総会当日ですでに百一名が登録していて、昨年度の総数七十七名を越えました。参加できなかった会員の皆さんは議案集を図書館窓口でお受け取り下さい。



泉鏡花の代表作といえば「義血侠血」だろう。金沢で評判の水芸の太夫・滝の

図書館まつり プログラム

10:00~14:00

- ★伝承あそび
「こま」「お手玉」「けん玉」
「だるま落とし」「竹おじゃみ」
生涯学習インストラクターの会
- ★紙ひこうき作り
図書館友の会メンバー
- ★スタンプラリー(賞品あり)
- ★本のバザール

11:00~11:40

- ★しびびの会のおはなし会
語りと人形劇
「ハンゼルトグレーテル」

13:00~

- ★図書館で知ろう七尾のまつり
「石崎奉燈祭」
展示解説 石崎奉燈祭奉賛会



行われ四十五名の会員が参加しました
今年度に計画する大きな

行事は図書館まつり、ふるさと散歩(バス旅行も視野に入れてコースを考える)、本を読む仲間の集い(開催日は例年の三月にもどし、年度の締めくくり行事とする)などです。そのほか友の会の集い(第2火曜)ちょ図ボラ(第4火曜)もあります。会員数の目標は昨年度と同じ二百名ですが、総会当日ですでに百一名が登録していて、昨年度の総数七十七名を越えました。参加できなかった会員の皆さんは議案集を図書館窓口でお受け取り下さい。

白糸は、恋する村越欣也の学業のために貯めたお金を悪い奴らに盗られたあげく、胸をえぐる結末が：
▼今は上演されることもない水芸だが、筆者が子供のころ七尾劇場だったか見た覚えがある。大夫が音曲に合わせて「はいっ」と声をあげると、頭から、扇子から、刀から水が吹きあがる。しまいに舞台はさながら大噴水となったが、水芸の鉄則は、舞台を濡らさずに次の芸人に渡すことだったというから驚く▼昨夏、帰宅すると玄関前を不審な水が流れていた。水は土留めに埋めたブロックの穴の一つから湧き出している。慌てて水道元栓を閉め、設備屋を呼んだ。掘ってみたが配管に異常はない。水が出たブロック穴は草土が詰まっていたが、取り除くと底はコンクリートを打っており水の漏る隙間もない。この不思議、鏡花の小説のネタになりうるだろうか。T

この会

「名曲サロン」を再開しました

七尾ディスククラブ
田治俊孝



昭和四十年ごろ図書館で始まったレコードコンサート「名曲サロン」は、七尾ディスククラブが引継いで五十余年、コロナ禍による中断三年を経て、ようやくこの四月に再開しました。通算七八四回となります。

再開に当たって、行き帰りの交通安全のため時間を夜から昼に移し、静かな環境を求めて小丸山台の集会場を有料で借りることにしました。思いきり音を

出しても大丈夫なので会員にはおおむね好評のようです。さあ和気あいあい、メンバーが心静かに名曲に浸る風景が戻りました。四月からの三ヶ月で、マーラーの交響曲2番「復活」、シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」、ベートーヴェンの交響曲6番「田園」を聴きました。ただそれだけでは、いくら何でも肩が凝ると言うもの、坂本九の「上を向いて歩こう」



など、ポピュラーな曲も入れてバランスを取っています。今や「レコードコンサート」は死語となり、音楽はネットから、ひとりイヤホンで聴く時代ですが、家庭では出せない音量で感動を共有するのは、やはり良いものですネ。

ふるさとの風景

輪島市の男女滝

なめだき

撮影・寺野時雄

文・吉田好江



輪島市に珍しい滝が三つある。穴の開いた岩から落ちる『桶滝』、滝の水が川ではなく直接海に落ちる『垂水の滝』、そしてこの『男女滝』である。写真は緩やかな流れの女滝(本流)で、隠れて右側に急傾斜から勢いよく落ちる男滝(支流)がある。夫婦のように寄り添う景観からこの名がついたという。お勧めは桜の頃、そして万緑輝く頃。雪に覆われた滝の流れも荘厳だが雪道は怖い。これからの暑い日はカキ氷をシャリシ

ヤリ食べるのもいいが自然に囲まれた滝のマイナスイオンをたっぷり浴びるのはどうだろう。輪島市街から間垣の里として知られる大沢集落を越えて山の方へ車を走らせると出会える。一度訪れてみてはいかが。ただ、県道とは名ばかりで山深く険しいのでお気をつけて!

余談 かつてはここに小学校があった。滝は放課後の子供達の格好の遊び場だった。その姿を校庭から、時には職員室の窓から見守る先生がいて安心して遊ぶ子供達があった。今では考えられない素朴で温かな教育環境があった。

友の会コーナー ガラスケースを 展示用に入手



七尾シルバー人材センターが旧御祓中学校体育館でリサイクル品の販売をしています。そこへ、友の会コーナーに置く展示用ガラスケースがないかと探しに行きました。衣類から家具まで格安品の山です。ところが販売担当のご婦人が上を指さし困り顔。何でも迷い込んだ小鳥が一羽、体育館が広すぎて出られないといひます。ダメもとで館内の暗幕を奥から閉めていくと小鳥は明るい出入口から飛び出ていきました。喜ぶご婦人と話すうちに、その方は前々会長・米岡完二さんの奥様で、主人の遺志だとして昨年ご寄付も頂いた方だったと分かりました。目的のガラスケースも見つかり、格安なのに半値にしてくれたことも、ここに報告します。

もうすぐ海の日、寺野時雄さんが製作中の帆船がガラスケースに入って友の会コーナーにデビューするのも間もなくです。